

はじめに

本書を手にとっていただき誠にありがとうございます。

私たちは、これまでさまざまな現場のさまざまな職種の皆様から、数多くの口腔ケアに関するご質問をいただいております。そしてそれらのご質問をまとめ、平成25年に『口腔ケアの疑問解決Q&A』を出版させていただきました。

それからアツという間に8年が過ぎ、その間に、医療介護の現場における口腔ケアを取り巻く環境は大きく変わってきました。

その一つは周術期における口腔管理が、がん治療を中心に普及し、医科歯科連携のなかで口腔ケアが大きく推進されたことです。また、平成27年に「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)が策定され、認知症高齢者に対する在宅医療が推進されるに伴い、在宅や施設の認知症高齢者の口の問題が大きくクローズアップされることになりました。さらに平成30年からフレイル対策事業が地域において本格実施されるなかで、オーラルフレイルが注目されるようになってきました。そして何よりも、令和2年から新型コロナウイルス感染症のパンデミックが生じ、医療介護現場だけでなく、家庭、職場など日常生活においても、感染対策の重要性が周知されることとなり、そのなかで口腔から生じる飛沫が注目され、口腔ケアについても多くの議論がなされるようになりました。

そこで本書では、『口腔ケアの疑問解決Q&A』で掲載した54の質問に対する答えに最近の知見を加えリニューアルするとともに、周術期や認知症などに関する14の質問を新たに追加し、さらに充実した内容といたしました。もちろん『口腔ケアの疑問解決Q&A』でご好評いただきました、1つの項目だけ読んでいただいても疑問を解決できるような構成はそのままだけに、図表や写真、さらに今回は動画も多用して、疑問を解決するだけでなく、すぐに実践できるように工夫しました。また、索引や参考文献も充実させ、同僚の皆様への伝達や説明が行いやすいように構成しました。

口腔ケアは基本ケアだけど、少し苦手意識があり、いつも不安に思っているような方が、自信をもってひとりだちでき、さらに苦手な人に教えてあげられるようになっていただけると嬉しいです。

最後になりましたが、本書が少しでも口腔ケアの疑問を解決し、苦手を克服したいと思われている皆様のお役に立てれば幸いです。

令和3年9月

著者一同

北海道大学大学院 歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室

山崎 裕 渡邊 裕